

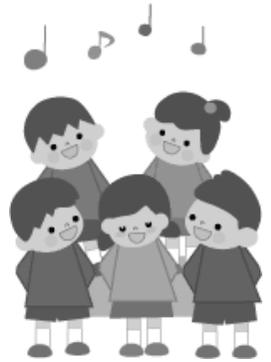


# 副園長日記 R3.11.26

いよいよ明日は発表会です。子どもたちは毎日発表会ごっこを楽しんでいます。それぞれのクラスの発達段階や雰囲気やぴったりの構成となっています。どうぞ、お楽しみに。

今回は、我が家の発表会の思い出を書いてみようかと思えます。3人の子どもがおり、本当に三者三様の発表会でした。

一番上の息子は、マイペースのおっとりとした子です。親も一つ一つの行事が初めてなので、何をしてもハラハラドキドキ。「は〜い」と返事をするだけでも、「大きくなって〜」を涙腺がうるうるしてしまったのを覚えています。同じ歳のいとも同じ保育園だったので、祖父母宅で毎日のように練習していました。本番までには親もすっかり台詞を覚えるほどでした。



二番目の娘は、おしゃべり大好き、保育園大好きの子です。親としては、毎日これだけしゃべっているんだから、発表会でも堂々と演技してくれることと期待していました。ところが、、、、。「〇〇ちゃ〜ん」「は〜い」と出てきた瞬間に、大勢の観客がいることに気付くと、つつつつつとそのまま後ずさりをして、段ボールの家の中に入り、そのまま演技終了まで出てきませんでした。

三番目の息子は、早生まれのせいか、体も小さく、友だちと比べてまだまだ幼い感じでした。出し物は「3匹やぎのがらがらどん」。てっきり子ヤギの役かと思いきや、なんとトロルの役に立候補したそうです。園長先生から「何度見ても子ヤギに見えて、思わずよしよしちゃうの〜」と言ってもらいながら、うれしそうにかわいいトロルを演じていました。

明日の発表会では、いつもどおりの力を発揮できる子ども、いつも以上に緊張しちゃう子ども、様々だと思えます。うまくできなかつたとき、親としては正直がっかりすることもありましたが、子どもたちが大人になり思い出話に花が咲いている様子を見ると、それぞれ大事な成長の通過点だったんだなと思えます。明日の発表会がすてきな思い出の1ページとなりますように。

